

2017年 2月

中国四国農政局
徳島県拠点

News Letter

農林水産大臣賞受賞「シンビジュウム(切り花)」 ～土成町洋蘭生産組合(JA板野郡)～



農林水産大臣賞を受賞したシンビジュウム「ミューズの宴」

徳島県の北部に位置し、讃岐山脈に隣接している阿波市土成町で洋蘭生産組合が発足して25年。今年77歳で現在も同組合の販売指導を担当しつつ洋蘭栽培も行っている吉本猛さんが中心となって近所の方4人と一緒に起ち上げた組合です。

吉本さんがシンビジュウムを栽培するようになったきっかけは、それまで30年近く営業として勤めていた職場の近所で顔見知りの方がシンビジュウムの栽培を行っていることに興味を持ったこと。自分もシンビジュウム栽培を職にしよう一念発起し、会社を辞職。全くの異業種であるものの、生来の熱心さと培った営

業のノウハウを駆使し、水や温度管理、肥料についてとことん勉強し実践。販売先としては、京阪神の主要な花き市場に頻度高く足を運び、関係者から市場動向や消費者の趣向等の情報収集に努めたそうです。その甲斐あって全盛期はシンビジュウムの切り花1反当たり1千万円もの売上げとなったようです。数年間は一人で行っていたものの近所の農家の方達からシンビジュウムの栽培方法について教を請われ、平成4年に土成町洋蘭生産組合を起ち上げました。

吉本さんは、品質日本一になることを組合の目標に、それまで育成が難しく誰も栽培しない品種についても果敢に挑み、苗の仕入についても、種苗メーカーからのお薦めだけに頼らず、自分の見識に基づいて購入する徹底具合。また、組合として共同販売にこだわり、組合員の高いレベルでの育成技術の均一化に力を注いでいます。

1月28、29日JA全農とくしま、JA徳島中央会、徳島県などが主催する徳島県花き展示品評会が徳島市で開かれ、県内の花き生産組織などから、シンビジュウムやユリ、花木など切り花、枝物、鉢物など計112点が出品されました。

その中で、土成町洋蘭生産組合が出品したシンビジュウム(切り花)「ミューズの宴」が最高位の農林水産大臣賞に輝きました。

品評会は、徳島県の花き生産技術の向上と消費者へのPRを目的に開催されており今回で34回目。

徳島県は京阪神の市場を中心に花きを出荷し、中でも洋蘭切り花の出荷量は全国トップクラスとなっています。



シンビジュウムの花立ちを整える吉本氏



出荷前の水揚げ段階のシンビジュウム

箱詰め作業の様子

JA板野郡経済課課長代理で同組合の事務局を担当されている松本晃氏は、「現在、京阪神の花き市場において本組合のシンビジュウムの評価が安定して高いのは、同組合の方針、そして吉本氏の尽力によるところが大きい。これからは、全組合員7名とJAが連携し、時代のニーズをつかみながら栽培技術の一層の向上を図り、より良い品を提供できるよう取り組んでいきたい。」と話してくれました。

農業競争力強化プログラム

～日本の農業、もっと強く。～

農業者の所得向上に向け、農業者が自由に経営展開できる環境を整備するとともに、農業者の努力では解決できない構造的な問題を解決していくため、農業競争力強化プログラムが決定され農林水産業・地域の活力創造プランの中に位置づけられました。

このプログラムの具体的な内容を知っていただけるよう、説明動画を農林水産省ホームページへ掲載しましたので、ご覧ください。

説明動画はこちらをチェック！



農業競争力強化プログラム

検索



スマートフォン用
QRコード



中国四国農政局徳島県拠点

青色申告を始めましょう！

- 青色申告は、自分の経営を客観的につかむための重要なツールです。青色申告には、**税制上のメリット**もありますので、**早速、取り組んでみましょう。**
- なお、政府の農林水産業・地域の活力創造本部において、青色申告を行っている農業者を対象とした収入保険制度の導入が決定されました。

青色申告を始めるには、
まず何をすればいいの？



新たに青色申告を始めるためには、個人の場合、**平成29年3月15日までに、最寄りの税務署に「青色申告承認申請書」を提出**する必要があります。

この申請を行えば、平成29年分の所得から、青色申告を行うことができます(申告時期は平成30年2～3月)。

編集：中国四国農政局 徳島県拠点

〒770-0943 徳島市中昭和町2丁目32

TEL (088)622-6131(内線214) FAX(088)626-2091 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちら) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>